

2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月10日

上場会社名 株式会社サトー商会 上場取引所 東
 コード番号 9996 URL <http://www.satoh-web.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 滝口 良靖
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 藤原 督大 (TEL) 022-236-5600
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	33,439	△13.2	711	△43.4	907	△36.7	437	△51.5
2020年3月期第3四半期	38,508	0.6	1,256	0.6	1,432	0.5	901	△5.7

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 430百万円(△52.4%) 2020年3月期第3四半期 905百万円(△2.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	48.94	—
2020年3月期第3四半期	100.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	35,582	23,873	67.1
2020年3月期	32,271	23,710	73.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 23,873百万円 2020年3月期 23,710百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2021年3月期	—	15.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	43,400	△12.4	700	△51.3	910	△45.2	420	△59.5
								46.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	9,152,640株	2020年3月期	9,152,640株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	212,153株	2020年3月期	211,926株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	8,940,596株	2020年3月期3Q	8,940,788株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年12月31日)における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大に伴い、国内外における移動の制限や生産活動の停止、および不要不急の外出自粛、学校の休業や外食サービス業の休業・営業時間短縮など、経済活動と個人消費が停滞し、景気は急速に悪化したものの、緊急事態宣言解除をうけ、徐々に経済活動の再開の動きがみられました。しかしながら、その後も断続的に新型コロナウイルスの感染症の感染が再拡大するなど、感染収束時期を見通すことが出来ず、極めて厳しい経済環境が続いております。

このような経営環境のもと当社グループは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止への対応として、従業員のマスク着用、消毒、定期的な換気などの安全対策に万全を期すとともに、社内外への感染防止と従業員の健康と安全の確保を図りながら、顧客のニーズに応えるべく企業活動を続けてまいりました。また、2020年度経営方針「難局に一致団結して乗り越えよう」をスローガンとして、全社一丸となり新型コロナウイルスの感染の予防策を実施するとともに会社の危機管理と事業継続に備え、業務プロセスのデジタル化の推進やBCP対策に注力してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高334億39百万円(前年同四半期比13.2%減)、営業利益は7億11百万円(同43.4%減)、経常利益は9億7百万円(同36.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億37百万円(同51.5%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

卸売業部門におきましては、新型コロナウイルスの感染拡大による行動自粛に伴い、特に外食業種、製菓業種、弁当業種、事業所給食業種の得意先に対する販売額の減少が顕著となりました。一方、学校給食業種についてはコロナ禍における個食商品への献立変更の対応などにより一定の成果を得られました。また、G o T oキャンペーン等の支援事業により一時的に客足が戻りつつありましたが、政府の緊急事態宣言発令や自治体からの営業時間短縮要請が再び出るなどした事で行動自粛や外食機会の減少、テレワークの普及等の生活様式の変化により、再び社会全体が自粛ムードとなった事で引き続き外食業種、製菓業種、弁当業種、事業所給食業種中心に当面の間は厳しい状況が続く見通しとなっております。

この結果、売上高289億47百万円(前年同四半期比14.6%減)、セグメント利益(営業利益)は7億96百万円(同42.1%減)となりました。

小売業部門におきましては、主要顧客である中小飲食店やイベント業者は引き続き大きな影響を受けており、厳しい経営環境にある中小飲食店を応援するべく、各店において展示即売会の継続開催に努めました。一方で、内需関連商品として調理済み冷凍食品や製菓・製パン材料の動きは引き続き活発となりました。2020年11月には飲食店及び個人客向けに「LINE」を活用した新たな会員プログラムをスタートさせ、お得な情報配信による仕入れ利便性の向上や、新型コロナウイルスの影響で苦境に立つ地元生産者・加工業者と個人客を繋ぐ「東北旨いもん!」企画の配信で、個人客の獲得に努めました。

この結果、売上高44億91百万円(前年同四半期比2.3%減)、セグメント利益(営業利益)は3億44百万円(同5.5%増)となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間の販売実績を業種別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	前年同四半期比(%)
卸売業部門		
製菓業種 (千円)	4,832,263	90.3
弁当給食業種 (千円)	2,616,147	84.8
事業所給食業種 (千円)	3,967,058	94.7
メディカル給食業種 (千円)	3,967,949	96.9
学校給食業種 (千円)	2,764,459	97.8
外食業種 (千円)	3,535,710	55.1
惣菜業種 (千円)	4,858,334	96.0
その他 (千円)	2,405,428	83.2
計 (千円)	28,947,351	85.4
小売業部門 (千円)	4,491,860	97.7
合計 (千円)	33,439,211	86.8

- (注) 1. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。
2. 小売業部門の業種別は該当ありません。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ33億11百万円増加し、355億82百万円となりました。これは主に、現金及び預金並びに受取手形及び売掛金の増加によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べ31億49百万円増加し、117億9百万円となりました。これは主に、仕入債務の増加によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ1億62百万円増加し、238億73百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び配当金の支払によるものであります。

この結果、自己資本比率は67.1%(前連結会計年度末73.5%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2020年11月10日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,668,489	4,754,411
受取手形及び売掛金	4,596,980	6,065,812
有価証券	8,500,000	8,200,000
商品	2,442,536	2,322,421
その他	362,299	861,799
貸倒引当金	△20,930	△27,656
流動資産合計	18,549,374	22,176,788
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,483,741	1,451,885
土地	3,695,549	3,695,549
その他（純額）	492,773	531,779
有形固定資産合計	5,672,064	5,679,214
無形固定資産	207,519	179,270
投資その他の資産		
投資有価証券	6,192,751	6,164,160
その他	1,656,481	1,387,693
貸倒引当金	△7,162	△4,308
投資その他の資産合計	7,842,071	7,547,546
固定資産合計	13,721,655	13,406,032
資産合計	32,271,030	35,582,820
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,245,077	9,685,374
短期借入金	683,000	683,000
未払法人税等	219,000	27,000
賞与引当金	293,976	172,649
店舗閉鎖損失引当金	—	8,913
その他	798,115	800,400
流動負債合計	8,239,169	11,377,337
固定負債		
役員退職慰労引当金	202,325	212,848
退職給付に係る負債	42,646	44,019
資産除去債務	47,389	47,509
その他	28,606	27,920
固定負債合計	320,968	332,297
負債合計	8,560,137	11,709,635

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,405,800	1,405,800
資本剰余金	1,441,717	1,441,717
利益剰余金	21,041,207	21,210,563
自己株式	△188,623	△188,983
株主資本合計	23,700,101	23,869,096
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	50,962	39,796
退職給付に係る調整累計額	△40,171	△35,708
その他の包括利益累計額合計	10,791	4,087
純資産合計	23,710,892	23,873,184
負債純資産合計	32,271,030	35,582,820

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	38,508,108	33,439,211
売上原価	31,238,731	26,918,915
売上総利益	7,269,376	6,520,296
販売費及び一般管理費	6,012,703	5,808,567
営業利益	1,256,673	711,728
営業外収益		
受取利息	83,527	67,598
受取配当金	20,754	22,105
持分法による投資利益	18,743	10,953
受取賃貸料	40,279	47,644
その他	24,235	60,150
営業外収益合計	187,540	208,452
営業外費用		
支払利息	1,707	1,482
賃貸収入原価	9,692	11,016
営業外費用合計	11,400	12,499
経常利益	1,432,813	907,681
特別利益		
投資有価証券売却益	—	35,743
特別利益合計	—	35,743
特別損失		
固定資産除却損	19,970	7,410
減損損失	86,622	—
災害による損失	9,358	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	8,913
特別損失合計	115,952	16,324
税金等調整前四半期純利益	1,316,861	927,100
法人税、住民税及び事業税	358,106	212,303
法人税等調整額	57,169	277,223
法人税等合計	415,276	489,526
四半期純利益	901,584	437,574
親会社株主に帰属する四半期純利益	901,584	437,574

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	901,584	437,574
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,112	△11,166
退職給付に係る調整額	△2,976	4,462
その他の包括利益合計	4,136	△6,703
四半期包括利益	905,721	430,870
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	905,721	430,870
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う業績への影響について、第1四半期連結会計期間までは2021年3月期中に概ね収束するものと想定しておりましたが、第2四半期連結会計期間以降における売上の回復状況等を勘案した結果、過年度と同程度まで業績が回復するのは当初の想定より時間がかかることが見込まれることから、第2四半期連結会計期間においては、今後数年間は業績への影響が継続するものと仮定し、繰延税金資産の回収可能性の判断において企業分類の変更に伴う繰延税金資産の取崩しを行っております。

当第3四半期連結累計期間においては、会計上の見積りに用いた仮定について、第2四半期連結会計期間から重要な変更はありません。

なお、当該仮定には不確実性が伴うため、第4四半期連結会計期間以降における感染の再拡大等により、業績の回復が上記の想定以上に長期間を要した場合には、固定資産の減損処理、貸倒引当金の計上等により、当連結会計年度の業績に更なる影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売業部門	小売業部門			
売上高					
外部顧客への売上高	33,908,448	4,599,660	38,508,108	—	38,508,108
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	33,908,448	4,599,660	38,508,108	—	38,508,108
セグメント利益	1,375,516	326,663	1,702,179	△445,506	1,256,673

(注) 1. セグメント利益の調整額△445,506千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

調整額において、除却を予定している共用資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額81,915千円を減損損失として特別損失に計上しております。

また、「小売業部門」セグメントにおいて、除却を予定している事業用資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額4,707千円を減損損失として特別損失に計上しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売業部門	小売業部門			
売上高					
外部顧客への売上高	28,947,351	4,491,860	33,439,211	—	33,439,211
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	28,947,351	4,491,860	33,439,211	—	33,439,211
セグメント利益	796,093	344,594	1,140,688	△428,960	711,728

(注) 1. セグメント利益の調整額△428,960千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。